

# 金堂市長

## 四代目市長に再選

### 市議補選は土居の両氏

このほど行なわれました市長選挙と市議会議員の補欠選挙は、低調な選挙ムード中で市民の選挙意識も湧かないまま、また、あいにく、投票日の七日は朝からの冬にはめずらしいはげしい雷雨にみまわれ、選挙民の出足をくじいたため、前回四人の立候補のときの投票率(約八十四%)よりも大幅に低く、これまでの最低を記録しました。

このほど行なわれました市長選挙と市議会議員の補欠選挙は、低調な選挙ムード中で市民の選挙意識も湧かないまま、また、あいにく、投票日の七日は朝からの冬にはめずらしいはげしい雷雨にみまわれ、選挙民の出足をくじいたため、前回四人の立候補のときの投票率(約八十四%)よりも大幅に低く、これまでの最低を記録しました。

### 拡張される簡易上水道

## 新たに日章地区にも布設 給水人口13,000人に増大

市民の台所をうるおして、ますます市の上水道は、稲生村にできた簡易水道がまず最初のことで、その後、長岡と後免町を給水地区とした簡易水道ができ、市の人口の増加にもなると、稲吉に水源地道がひかれました。

四、五年ほど前、冬期洪水の被害のあり、立田地区を中心とした日章簡易水道は、頭切四十四年十二月に完成の予定でしたが、水源地の確保に苦勞し、二転、三転した結果、



写真は物部水源地の掘入れ



果、ようやく物部の中学校入口付近に豊富な水資源を見出すことができ、このほど指名入札の結果、高知市の中島工務店が、三千五百六十六万円で落札し、二カ年の継続事業で、ことし十二月給水開始を目途にこのほど着工をみました。

眼に関する専門技能及び家庭経営者として必要な知識、技能の修得を身につけ、予備課程もあつて、入学に要する経費は、二百円の受験手数料と、教科書代千七百円余りと月額三百円程度です。

### 働きながら学ぼう!!

#### 夜間の農高生募集

家庭の都合などで、高等学校へ進むことのできない人たちのために、働きながら夜間勉強のできる定時制高校があります。

高知農業高校南分校(稲生)は、県下で唯一の夜間の農業高校(農業科)で、一晩に四時間、四か年で卒業、全日制と同等の資格が得られます。

科目には、稲作、園芸、果樹、農産加工、農業機械などの専門的な技術の習得はもとより、一般の教養の科目も十分あります。

同校には、被服別科(昼間、修業年限二年)として、女子の被服科も設けられています。

## 長崎の人

十市 梨夫

美紀が今井少尉と始めて顔を合わせたのは、戦争の末期、呉の軍場の勤勞奉仕の帰途、下町の叔母の家へ寄った時だった。その人は叔母の家へ下宿したばかりで、そこから美紀の村にある航空隊へ通っていた。その初対面の相手と、激しい口論を繰り返して、美紀は今でも覚えていた。

たおもいで、ふいに濃厚な男の胸へ顔をうずめた。衝動から胸を刺さる。それから半年ほどして終戦に。少尉が長崎へ帰る時小さな紙片が美紀の手に渡された。暮れなごむ空の下を美紀は物部河原に下りて行ってそれを開いた。

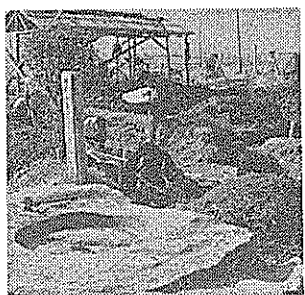


美紀が長崎からの濃厚な手紙を受け取ったのは、終戦の年が明けてからであった。だが、美紀はついに開封しなかつた。その時美紀にはすでに結婚の相手が決まっていたので、読むことができなかった。読むまいと分かってた。読まぬままに封を破った。その間に美紀も二人の子供の母親になつて、平安な日々が過ぎていた。ある日、高校へ進学している長男が、水泳選手として長崎の団体へゆく旨の報らせを持ち帰った。長崎という言葉が古い記憶を美紀に蘇らせた。長崎へ随行しよう。とついに美紀は決心した。かれからの便りは、ずっと叔母の家へ送っていることを美紀は知っていた。過去の記憶をたぐり寄せたいのは、それだけ美紀が年取った証だ。だから、いまはM造船の重要なポストにいるというその人を、美紀はさまざまに思い描いた。

## みんなで選らぼう

### 市内10大ニュース

ふ十大ニュースにどしどしご応募ください。

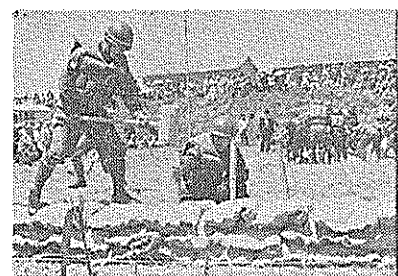


(写真は比江塔跡の発掘)

四十四年は市政十周年を迎えるなど記念すべき年でしたが、この一年を振り返って、

『南国市十大ニュース』を募集します。市内でおきたできごとから十大ニュースを選らんでください。

みなさんの応募の手引きとして昨年起きた主だったできごとを拾ってみました。もちろんこれは単なる参考ですので拾い落としたものがあるかもしれません。このほかお気付きのニュースなども加えて、市民が選らぶ十大ニュースにどしどしご応募ください。



(写真は防災訓練)

### ▼応募要領▼

- ▼市内であったことがらであればなんでも結構です。
- ▼一から十まで順位をつけた十大ニュースを連記、住所、氏名、年令、職業を必ずお書きください。
- ▼締め切り 一月二十五日
- ▼あて先 市広報係
- ▼応募総数によって、十大ニュースを最高点から決め、十人の方に記念品をさしあげます。
- ▼【一月】
- ▼大湊小学校の体育館できる。
- ▼【三月】
- ▼香長中学校にプール完成
- ▼【二月】
- ▼県農業試験場の移転先(廿校)決まる。
- ▼【四月】
- ▼南国バイパス高須一物部間が開通
- ▼【五月】
- ▼物部川で県下の総合防災訓練を実施。
- ▼【六月】
- ▼世界連邦南国支部結成される。
- ▼【六月】
- ▼湯川博士夫妻の講演会
- ▼【七月】
- ▼ホームヘルパー制度できる。
- ▼【九月】
- ▼「土佐希望の家」を起工
- ▼【十月】
- ▼市制十周年記念式典
- ▼第二回市民賞
- ▼土曜市を開市大好評
- ▼児童手当制度を実施
- ▼山腹に近代養鶏場できる
- ▼第九回市美術展
- ▼都築紡績高知工場、工場建設に着手
- ▼農協婦人部バレーボール大会で優勝
- ▼消防操法中央大会で稲生班が優勝
- ▼全国青年バレーボール大会に南国チームが、県代表となる。
- ▼【十一月】
- ▼日章地区簡易水道工事に着手
- ▼島田豊寿先生(下末松) 県文化賞を受賞。
- ▼市に同和対策本部を設置
- ▼後免町公民館落成
- ▼【十二月】
- ▼金堂市長次期市長に当選
- ▼比江塔跡の発掘調査始まる。